

令和5年度 公表資料に対する意見等

実施期間：令和5年7月1日（土）～10月31日（火）

実施方法：市ホームページ、市民向けアンケート（オンライン）、
市出資団体向けアンケート（個別送付）、意見交換会

アンケートや意見交換会等で出された主な意見は次のとおりです。

No.	意見（概要）
1	出資団体ごとの出資等の方向性を検討する上で、設立経緯や地域との関わり、団体自身の考えなどを総合的に勘案して検討するべきである。出資団体を無くすのは簡単だが、新たに設立する場合の労力も多大である。
2	③その他に括られる団体について、付き合いだけの出資だとしたら必要性が低いのではないかと。
3	グループ単位で区分して方向性を持ちながら、個々の団体のあり方を検討していく進め方は良いと思う。
4	民間事業者の活動領域も広がっている中で、行政として関与する範囲はもっと縮小しても良いのではないかと。
5	時代の変化とともに組織のあり方を検討することは必要であり、役割を終えたものは整理するべきである。
6	公共性の高いインフラや公園などは、一定の目的が達成されたとしても出資を引き揚げるべきではないと考える。レクリエーション施設などへの出資は利用者が限定されているので、出資の見直しも必要だと思う。